

銀行代理店制度の最近の動向

はじめに

2006年4月から銀行法等が一部改正され、一般の事業会社が銀行代理業務に参入できるようになった。ここでは、銀行代理店制度の改正の概要と最近の動向、利用者の意向についてまとめてみたい。

1 銀行代理店制度改正の概要

銀行の預金口座の開設や入出金、融資の取り次ぎ等の業務を行う代理店制度は以前からあったが、法改正前は銀行等^(注)、あるいは銀行の全額出資の専門子会社にしか認められていなかった。4月の法改正で規制が緩和され、一般の事業会社にも参入が認められるようになったため、スーパー、コンビニエンスストア、旅行代理店、自動車ディーラー等の参入が活発化するとみられていた。これらの事業会社は、業務を行うことによって銀行から手数料を受けることができ、銀行側は顧客と接する窓口を増やすことができるというメリットがある。

しかし、現実には、代理店であっても利用者に対しては銀行と同等の商品説明や法令順守が求められ、金融庁の検査の対象にもなり、事業性の融資を行うためには金融機関で最低1年以上（規格化された商品の場合）の経験がある人を配置しなければならない。業務を委託している銀行は、代理店の職員に対する教育や、業務上の法令順守について責任を負うなど、銀行、事業会

社双方にとって参入へのハードルは高い。

（注）銀行以外では、保険会社が貸付業務の代理、証券会社が証券業務の代理を行うことができた。

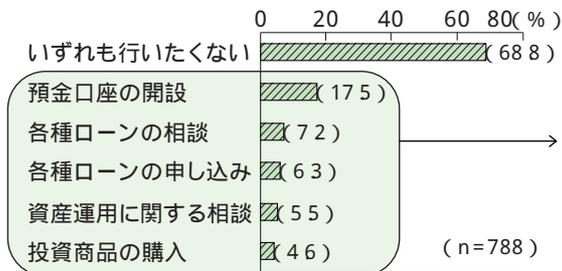
2 参入の状況

当初、金融庁では、500社程度が業務に参入すると見込んでいたが、現時点では参入はほとんど進展していない。

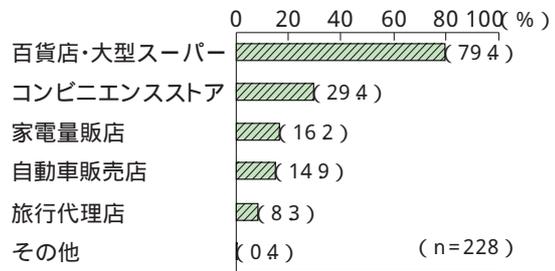
ローソンやファミリーマートは、定款を変更し銀行代理業を事業目的に追加するという段階にとどまっている。店員にはアルバイトの学生が多く、規制への対応が容易ではないことが課題であるとみられる。一方、イオンは、代理店としてではなく、総合金融事業の一環として銀行免許を取得したうえで、銀行業に参入することを決定した。イトーヨーカドーの場合は、一部の店舗に銀行窓口を設けているが、これはグループ内のセブン銀行の窓口である。この窓口でセブン銀行が提携している千葉銀行等複数の金融機関の口座開設等を受け付けるサービスを行っているが、これはセブン銀行の業務であり、イトーヨーカドーが銀行代理店になっているわけではない。

結局、改正後の銀行法による代理店業務への参入第一号は野村證券となり、9月4日から業務を開始した。野村證券は、グループの野村信託銀行の代理店として、インターネットバンキングサービスを提供している。口座は、証券総合口座を保有し、野

第1図 どのような取引を行いたい
(複数選択可能)



第2図 銀行以外のどこで取引したいか
(複数選択可能)



資料 第1, 2図とも日本経済新聞社調査

村ホームトレードというインターネット取引を利用している人だけが開設できる。野村証券の店舗では、口座開設の受付のみを行い、実際の現金の受払いなどは行わない。

参入第二号は、中小企業を中心に税務サービス等を提供するエフアンドエムで、大阪東信金の代理店として企業向けの融資を10月から開始する予定である。日本経済新聞(06年9月13日付)によれば、同社の取引先企業に資金需要が発生すると、同社が大阪東信金への窓口となり、同信金が審査を行う。融資を実行すると、エフアンドエムには融資額の0.5~2.0%の手数料が入る。エフアンドエムは、金融機関ではない一般事業会社が銀行代理業務に参入する初の事例となった。

3 利用者の意向

それでは、利用者側は銀行代理店制度をどのようにみているのだろうか。日本経済新聞社が7月に東京駅から40km圏内に居住する16歳~88歳の男女1,300人を対象に行った調査(788人が回答)で、銀行以外でど

のような取引を行いたいと質問したところ、「いずれも行いたくない」(68.8%)が最も多かったが、「預金口座の開設」と回答した人の割合も17.5%を占めた。「各種ローンの相談」(7.2%)、「各種ローンの申し込み」(6.3%)がそれに次いだ。何らかの取引を行いたいと回答した228人を対象に、どこで取引したいかを聞いたところ、最も多かったのは「百貨店・大型スーパー」で79.4%を占めた(第1, 2図)。

おわりに

以上みてきたとおり、現状では銀行代理業務への参入は限定的である。野村証券、エフアンドエムのケースは、既存顧客に対する追加的なサービス提供であり、新しい利用者の獲得手段という位置づけではない。しかし、利用者側には身近なスーパー等で預金口座を開設したりすることへの関心があるとみられる。規制に対応しつつも効率的に利用者の利便性を満たすような業務体制をいかに構築できるかが、制度を活用するための今後のカギとなろう。

(主任研究員 重頭ユカリ・しげとうゆかり)